

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：県民生活行政費

事業名 県子ども会育成事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境生活政策課 生涯学習係 電話番号：058-272-1111(内3574)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 777 千円 (前年度予算額：777 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	777	0	0	0	0	0	0	0	777
要求額	777	0	0	0	0	0	0	0	777
決定額	777	0	0	0	0	0	0	0	777

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

子ども同士及び地域の人との関わり方・望ましい人間関係を築く力が低下している昨今、地域に根ざした主体的な活動に取り組むことや、地域における活動の促進及び地域の教育力の向上が青少年の健全育成のための課題となっている。

(2) 事業内容

県子ども会育成連合会が実施する青少年の健全育成を図るための事業の実施に要する経費の一部を補助し、各子ども会の活性化を図るとともに、各地域において主体的な活動を実施できるように支援する。

- ・指導者養成 ・指導資料の発行 ・研修会への派遣
- ・子ども会活動の調査研究 ・地区別合同研修会の開催 ・機関紙の発行

(3) 県負担・補助率の考え方

定額：補助対象経費の2分の1以内の額

(生涯教育促進事業費等補助金交付要綱による)

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	777	県子ども会育成事業費補助金
合計	777	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

○教育ビジョン

基本方針5

目標⑳ 家庭や地域と学校が連携した教育環境づくりの推進

○取り組むべき主な施策⑤

社会全体で子どもたちの学びを支援する取組の推進

(2) 後年度の財政負担

青少年の健全育成と地域の教育力の向上を図るための補助事業であり、次年度以降も継続する必要がある。

(3) 事業主体及びその妥当性

岐阜県子ども会育成連合会が開催している研修会等には、毎年県内から多数の指導者やリーダーが参加しており、これら参加者が、地域の子どもの活動を支え、青少年の健全育成に貢献していることから妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	県子ども会育成事業費補助金
補助事業者（団体）	（一財）岐阜県子ども会育成連合会 （理由）地域に根ざした主体的な活動を行う子ども会活動の活性化により、地域の教育力の向上を図る。
補助事業の概要	（目的）社会教育の振興を図る。 （内容）事業に要する経費の一部を補助する。
補助率・補助単価等	定額 （内容）777千円（※補助対象経費の2分の1以内の額） （理由）社会教育の振興を図るため、事業に要する経費に対し、予算の範囲内で、補助金を交付する（交付要綱）
補助効果	子ども会指導者が地域の青少年健全育成に貢献
終期の設定	終期R5年度 （理由）社会教育関係団体への補助金交付については、県社会教育委員の会の意見を聞いて行っている。（社会教育法13条）

(事業目標)

<p>・終期までに何をどのような状態にしたいのか</p> <p>子ども会の指導者の養成等を支援し、子ども会活動の活性化を図ることで、地域の教育力を高める。</p>

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R1)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
①育成大会の参加者数	250	中止	中止	300	300	0%

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	777	777	421

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・(一財)岐阜県子ども会育成連合会が実施した育成者・シニアリーダー研修会、調査研究事業、資料刊行等に対し支援を行うことにより、子ども会活動の活性化を通じた地域の教育力向上に寄与できた。
	指標① 目標：300 実績：0 達成率：0 %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 3	コロナ禍において、地域における子どもたちの活動の場は減少しており、子どもたちに、仲間とともに主体的に取り組む体験活動を提供する子ども会の必要性は高まっている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 0	大会は中止となったが、調査研究、資料刊行等、コロナ禍においても実施可能な活動に取り組んできた。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	県担当者が理事会等に参加し、業務の確認を行うとともに、事業の実施方法等について助言している。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 少子化により、団体の構成メンバーが減少しているため、育成者や指導者の関わり方も含めた、活動内容全般の工夫改善が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 岐阜県の子どもたちによりよい体験活動の場を提供し続けられるよう、岐阜県子ども会育成連合会と連携し、指導者の資質向上、活動内容の工夫改善を進める。
